

○種目別開催要項（案）

【卓球交流大会】

1 競技規則

- (1) 大会開催時点での公益財団法人日本卓球協会制定のラージボール卓球ルールを適用する。
- (2) ラケット本体を覆っているラバーの表面、あるいは被覆されていない本体の表面は無光沢で片方は明るい赤、他方は黒でなければならない。
- (3) 表ソフトラバー（粒高ラバーを除く）のみが使用できる。また、ラケットの使用しない面であっても、使用が禁止されているラバーを貼ることはできない。
- (4) 試合球は、Nittakuプラスチック製44mmオレンジラージボール（JTTA公認球）とし、主催者が用意する。
- (5) 服装は、公益財団法人日本卓球協会が公認した半袖シャツ及びショーツあるいはスカートのみ着用できる。競技用シャツ（袖・襟を除く）、ショーツまたはスカートの主たる色は、使用するボールの色と明らかに違う色でなければならない。団体戦のメンバーの服装の組合せは任意とする。

2 競技方法

- (1) チーム対抗の団体戦を行う。
- (2) チーム編成は、次のとおりとする。
 - 監督 1人
 - 選手 6人（男子3人〔65歳以上1人以上、70歳以上1人以上〕・女子3人〔65歳以上1人以上、70歳以上1人以上〕、登録選手8人以内）
 - 合計 8人以内（監督は、選手を兼任できるが、その際は選手としても登録する。）
- (3) 試合順序は次のとおりとする。ただし、選手はシングルスとダブルスを兼ねることはできない。
 - 第1試合：女子シングルス（70歳以上）
 - 第2試合：男子シングルス（70歳以上）
 - 第3試合：混合ダブルス（男子、女子ともに65歳以上）
 - 第4試合：女子シングルス（60歳以上）
 - 第5試合：男子シングルス（60歳以上）
- (4) (3) の5試合のうち3試合勝ったチームを勝者とする。ただし、第1次・第2次予選リーグは、勝敗に関係なく第5試合まで行い、すべての試合の勝敗を計算してリーグの順位を決定する。決勝トーナメントは3試合先取とし、3位決定戦は行わない。
- (5) 試合は参加チームを24ブロックに分け、3チームによる第1次予選リーグを行う。次に各ブロックの1位チーム（第1位グループ）と2位チーム（第2位グループ）並びに3位チーム（第3位グループ）をそれぞれ8ブロックに分け、3チームによる第2次予選リーグを行う。その後、各ブロック1位チームによる決勝トーナメントを行う。
- (6) 決勝トーナメントは、コートを2台使用する。第1次・第2次予選リーグは原則としてコートを1台使用するが、進行の都合で2台使用することがある。

3 大会規定

- (1) 参加者の年齢は、60歳以上（1962（昭和37）年4月1日以前に生まれた人）とする。ただし、第1試合女子シングルスには70歳以上（1952（昭和27）年4月1日以前に生まれた人）、第5試合男子シングルスには70歳以上（1952（昭和27）年4月1日以前に生まれた人）を参加させることとする。また、混合ダブルスは、男子、女子ともに65歳以上（1957（昭和32）年4月1日以前に生まれた人）とする。
- (2) 試合の組合せは主催者及び主管団体で行う。ただし、第2次予選リーグ及び決勝トーナメントは、公開抽選とする。
- (3) ゼッケンは、主催者が用意したものを使用する。